



道の駅 玉村宿の運営状況を調査

リピーターを増やす品目の確保、経営内容の充実を望む

●出荷品の状況について
 出荷品目は106品目と種類は多いが、常に多品目での十分な量は出荷できていない。登録者は53人となっているが、実際の出荷者が37人と少なく、リピーターを増やすには品目を安定的にそろえる必要がある。今後は出荷者数をできるだけ増やし、出荷者相互の連絡や意見交換を密にしたい。

●町の歳入・歳出状況
 歳出は、施設管理費が2381万7513円、農業公社への運営委託費が6552万5070円を想定。運営委託費には仕入材料費として、農業公社に貸している1500万円も含まれている。歳入は、手数料等収入として7500万円、仕入材料費返還金が1500万円を予想している。

委員 長 備前島久仁子
 副委員 長 町田宗宏
 委 員 石橋茂樹
 員 高川端宏

今回はこのメンバーで、道の駅 玉村宿の運営状況を調査しました。

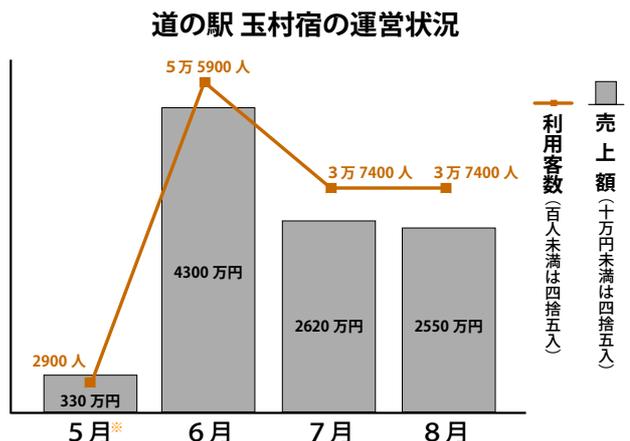


イベントで賑わう道の駅 玉村宿



まとめ

道の駅 玉村宿の課題と取り組み
 オープンから3カ月が経過し、経営内容や売り上げ状況など危機感を感じることが多い。出店業者に対しては町が条例に基づいて販売等許可を出しているが、万が一の場合に備えて契約書を交わすことも必要だ。
 さらに、入り口には、大型看板や季節ごとののぼり旗の設置を望む。イベントは住民が参加できるもの、料理教室やB級グルメ開発などを積極的に進めてほしい。今まで、委員会としてもさまざまな提言をしてきた。こうした意見も取り入れ、道の駅 玉村宿が今後発展していくことを切望したい。





中央小学校大規模改造事業の進捗状況を調査

大規模改修により新築に生まれ変わる！

今回はこのメンバーで、中央小学校大規模改造事業の進捗状況を調査しました。

- 委員長 宣子 彦志
- 委員 津美 俊武
- 委員 宇三 渡浅
- 委員長 木友 辺見
- 副委員長 三 渡浅



順調に工事が進む中央小学校

●中央小学校校舎及び体育館大規模改造工事が進む

学校施設は、児童生徒にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所となるなど地域の防災拠点としても重要な役割を担っており、その安全性の確保は極めて重要となります。

中央小学校の校舎及び体育館は、昭和57年から58年にかけて建設した施設で、耐震基準は満たしているものの、竣工以来30年以上が経過しているため、老朽化が著しい状況となっています。そのため、校舎及び体育館の大規模改造工事を実施し、教育環境の改善を図ります。

●大規模改造事業概要

工事内容

- ・屋上、ベランダの防水
- ・外装及び内装（壁、床、天井）
- ・建具の一部（ドア等）
- ・トイレ改修（洋式化）
- ・バリアフリー（校舎北側玄関スロープ化、体育館などに多目的トイレを設置）
- ・給排水設備、受水槽の交換、高架水槽の撤去
- ・空調設備（エアコン、FF式暖房機）
- ・電気設備（照明器具、放送設備の入れ替え等）
- ・その他外構工事など

※作業に先立ち、仮囲いや現場事務所の設置などを行います。

まとめ

工事現場を視察しましたが、大規模改修ということでも、ほぼ全面にわたって手が加えられていました。改修工事が終了すれば、新築同様の校舎になることが期待されています。

去る7月4日、工事に先立ち教員室や校長室などの設備の引っ越しにPTAをはじめ地域の関係者約130人の方々の協力が得られたとのことでした。

工事の進行状況は、工程表にしたがって順調に行われていました。

また、この猛暑の中、作業が進められていましたが、工事が安全のうちに進められ、無事完成することを願うものです。



こんな議案を審議しました

そこが聞きたい一般質問

委員会のついで

その他